

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.91 2002.4

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

横浜市の分別収集のことちゃんと知っていますか？

今月号から
月刊リサイクルデザイン
はリニューアルしました

● 100%リサイクル可能
鉄は循環社会の超優等生

P 4

● 教えて、聞かせて
牛乳パックのリサイクル

P 3

● クリーンキャンペーン きれいな街でキックオフ

P 7



横浜市の分別収集のことちゃん と知っていますか？

私たちの生活の中で、ごみは、どうしても毎日出てしまいます。日頃からそのごみを分別したり、また環境問題など私たちの暮らしに関っていたり、ごみはとても身近なものです。

横浜市では、ごみを減らしリサイクルを進めていくために、ごみの分別収集をしています。缶とびんの分別収集は、平成7年に横浜市全区で始まりました。さらに、ペットボトルの収集が平成11年から市内の3つの区でスタート。今年、平成14年の3月からは、ペットボトルを含めた分別収集が横浜市全区で実施されるようになりました。

リサイクルへのみち 緑資源選別センター

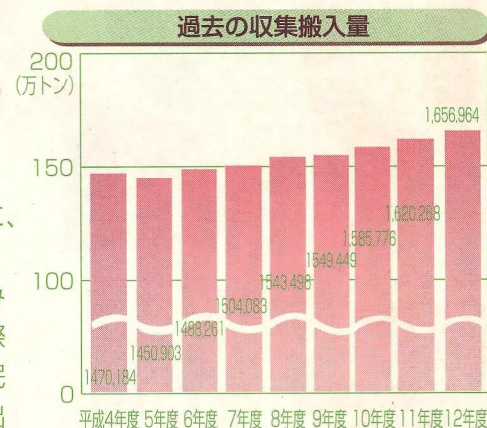
回収された缶やびん、ペットボトルは、横浜市に4カ所ある（緑、鶴見、戸塚、金沢）横浜市資源選別センターで資源ごとに選別され、リサイクルへと送り出されます。（今年3月に新たに稼働し始めた金沢資源選別センターは、ペットボトルのみ）

実際にこの資源選別センターでは、どのように選別されているのでしょうか。平成5年に横浜市で最初に建てられたという緑資源選別センターで、選別作業の現場に行ってきました。

分別しているのに 増え続けるごみ

横浜市のごみの量は、図のように、年々増え続けています。（図参照）平成12年度1年間の横浜市のごみの量は、約165万トン。横浜国際総合競技場の約10杯分です。市民一人あたり、約483kgのごみを出していることになります。また、ごみ処理にかかる費用は、年間547億円。横浜市の一一般会計予算の4.1%を占めます。

ごみを減らすためには、しっかりと資源ごみを分別してリサイクルしていくことがポイントです。今回は、「資源ごみの分け方」と「分別収集された缶、びん、ペットボトルのその後は？」と題して、横浜市の資源選別センターを訪ねました。実際の選別作業をご紹介します。



年間のごみの処理量は？



平成12年度に横浜市が処理したごみの量は横浜国際総合競技場約10杯分になります。

最初の選別は手作業です

緑資源選別センターには、缶やびん、ペットボトルを回収した収集車が一日平均120台から160台がやってきます。一年の中で最も回収量が増えるのが、7月から9月の夏の期間と年末年始。運び込まれた資源ごみは、機械と手作業により選別されていきます。到着した2トン車の収集車から、まずはフライパンなどの小さな金属類がコンテナへ入れられます。その後、収集車ごとスケールに乗り収集量を計測。1台の収集車が運び込む資源ごみの重量は、大体600kg程。

そして、いよいよ選別の開始です。ベルトコンベアーに乗った缶やびん、

回収された缶やびん、ペットボトルのその後は？

ペットボトルは、長さが5メートル程のベルトコンベアーの中で、回収袋、ペットボトル、手作業で取り分けていきます。残った缶やびんは、さらに次の選別へとすすみます。分離機という機械で缶とびんに選別されます。次に缶は磁石を利用した機

知っていますか？ 分別のしかた

リサイクルデザイン89号、「子どもたちのエコ体験」の記事の中にも、分別をしっかりとごみは、10分の1ぐらいに減ってしまったことが載っています。ここで、もう一度分別の内容を確認しましょう。

資源ごみになるのは、どれ？

1. 食べ物、飲み物が入っていた缶、びん、ペットボトル
 2. なべやフライパンなどの小さな金属類
- 週1回、回収しています。缶、びん、ペットボトルは、同じ袋に入れて、出します。



布類、古着類は？

経済不況、大量発生により、需要バランスが崩れ回収困難のため、各区のファイバーリサイクルなどで木綿、夏物衣料を中心に回収しています。

新聞やダンボールは？

自治会や子供会などが行なっている「資源集団回収」などにします。お問い合わせは、横浜市資源リサイクル事業協同組合（集団回収推進部会）電話 316-4050 にどうぞ。

粗大ごみは？

戸別に有料で収集しています。粗大ごみ受付センター（電話 312-0053）へ申込をします。

分別できない異物は、資源にならない。ごみだしのマナーを守ろう

こうして資源ごみの選別が全て終わったベルトコンベアーには、残さという割れてしまった小さなびんの破片や乾電池やせともの、ペットボトルのふた、未開封の缶づめなど、多種多様な異物が残っていました。

こういった残さは、焼き固めて敷石などに再生したり、埋め立てにも使われますが。回収袋は、どうなるのでしょうか。回収袋は、製鉄用の溶鉱炉の燃料となります。回収袋の中に異物が混じっていると、円滑な再資源化ができません。

このように、資源ごみとして回収された中に異物が混じっていたりと、私たちごみを出す側のマナーを再認

注意 つい忘れていませんか？

● 缶、びん、ペットボトルの中を洗いましょう。ふたや中ぶたなどは、はずして出しましょう。ペットボトルは、つぶして。

● ガラス食器、陶器類、化粧品、薬品の入っていたびん、スプレー缶、電球などは、資源ごみには、出せません。家庭ごみへ。

● 使用済み乾電池は、別にして半透明の袋に入れて、家庭ごみの集収日の水曜日または、木曜日に出します。

いかがでしたか。「これは、どう分別するの？」と思ったら、そんな時は、再確認。そして、牛乳びんやビールびんなど使えるびんは、リユース（再使用）するために、お店にもどしましょう。まずは、しっかりとごみを分別することが、リサイクルのはじまりなのです。

する必要があるようです。資源ごみを出す時にこういったことに気をつけたいのでしょうか。「缶やびんなどの中をすすぎ、ペットボトルは、ふたをはずして、つぶします。つぶさないで回収する時にかさばり、収集車は、空気も運んでいることになります。すすいだり、つぶしたりと毎日のこととなると面倒かもしれませんが、習慣になってしまえば簡単ですよ。」

確かに「習慣にすること」が、大事なことです。こうして、選別された缶、びん、ペットボトルは、トラックへと積み込まれ、次に資源として加工される所へと移動します。

次号は、トラックで運ばれたスチール缶・アルミ缶のリサイクルについて特集します。



給食の牛乳パックの
リサイクルに取り組む
下瀬谷小学校を訪ねて

牛乳パックのリサイクル

1日に400枚近く、年間7万2000枚もの牛乳パックを洗い、
乾かし、集め続ける努力。それは、環境問題に幅広く目を向ける
きっかけ作りという成果を生んでいます。

ごく当たり前のこととして

泉区、瀬谷区、旭区など、市内130ほどの小学校に給食用の牛乳を届けている業者と、古紙回収業者が協力して、牛乳パックのリサイクルを呼びかけました。その声に応じる学校が、平成10年度あたりから少しずつ増え、現在は45校ほどが取り組んでいます。



● 飲み終わったらパックを開いてすぐ洗うんだよ

います。ボクはいい子ですから」
「ウソはいけないぞ、ウソは」

突然のカメラ持参の来訪者にひるむことなくお調子者の少年が答えると、歯磨き中の先生がクギをさします。ワイワイと楽しそうな食後の風景に、牛乳パックのリサイクルは、ごく当たり前のよう溶け込んでいました。

このクラスでは、牛乳パックを流しの横のカゴに1日置いて乾かし、翌日の給食の片づけの時に、日替わりの牛乳パック係が職員室の収集箱へ運ぶ、という決まりになっているそうです。方法は、それぞれ各クラスごとに話し合っているそうです。

さて、順調な様子の高学年でしたが、低学年はどうでしょうか。1年生の教室で、担任の先生にお話をうかがいました。
「入学したてのころは、みんなパックを開

くのにととも苦労していました。全部ハサミで切ってバラバラにしたり。でも、今は手で上手にやっています」

子どもたちは、どう感じているのでしょうか。
「かんたんだよ。でも、ときどきたいへん。そういう時はハサミで切るの」

家でもやっているのかな
「ううん。大きいのは固くてできない。お母さんがやってる」

「うちはやってないー」
「ボクはおかわりしたから、2枚開くんだった」

いろんな声が飛び交いましたが、一人として『いやだ、やりたくない』という子はいません。みんな、やって当然のことと受け止めているようでした。パックを洗った後、このクラスでは流しの上に吊るして水を切り、各自の机の横に干しておくそうですが、そこまでちゃんと時間内にできていたのにも感心しました。

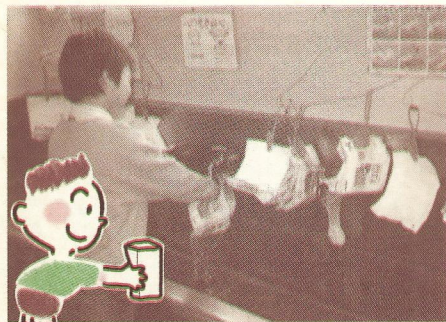
環境問題を考えるきっかけに

泉区にある下瀬谷小学校（14年度児童数364名）もそのひとつ、平成11年1月から取り組んでいます。子どもたちは一体どんなふうになっているのでしょうか。

12時半過ぎ、6年生の子どもたちが早くも給食を食べ終わったようです。手に手に開いた牛乳パックを持って廊下へ出てくると、流しで洗っています。みんなとても慣れた様子。洗い終わると、流しの横のカゴに積み重ねていきます。毎日やって面倒くさくないのだろうか。
「いいえ、全然。うちでもちゃんとやって

集められた牛乳パックを、配送時に業者が回収。ある程度たまったところで古紙回収業者が引き取る、というサイクルで、年に2回、各教室に1個ずつ（全校で年間26個）再生トイレットペーパーが古紙回収業者から届けられます。目に見える成果としては小さいかもしれませんが、子どもたちが毎日の積み重ねから得る、環境問題全体に対する関心の高まりという大きな効果が上がっているのは確か。牛

乳パックをどうしてリサイクルしなくてはいけないのか、リサイクルするとどんないいことがあるのかから始まって、広い視野から環境保護を考える子どもたちが少しずつ増えている、と、先生方は口をそろえます。実際、取り組み前には飲み残しの牛乳を流しに捨てていた子どもたちが、下水の汚れを気にし始め、自ら残飯入れに注ぐように変わったというような、日常の変化も見られるそうです。



● 手洗い場にこうやって乾かすんだ



● 乾いたら、1枚1枚きれいにまとめて



● 箱にきちんと入れること

循環型都市 「よこはま」をめざして、 一層のごみ減量を

横浜市では、ごみの減量化を一層促進させるため、平成12年6月から平成13年3月までの10ヶ月間「ごみ減量化アクションプログラム検討委員会」を設け検討を行ったほか、いくつかのモデル事業を実地し、ごみの減量効果をさぐってきました。

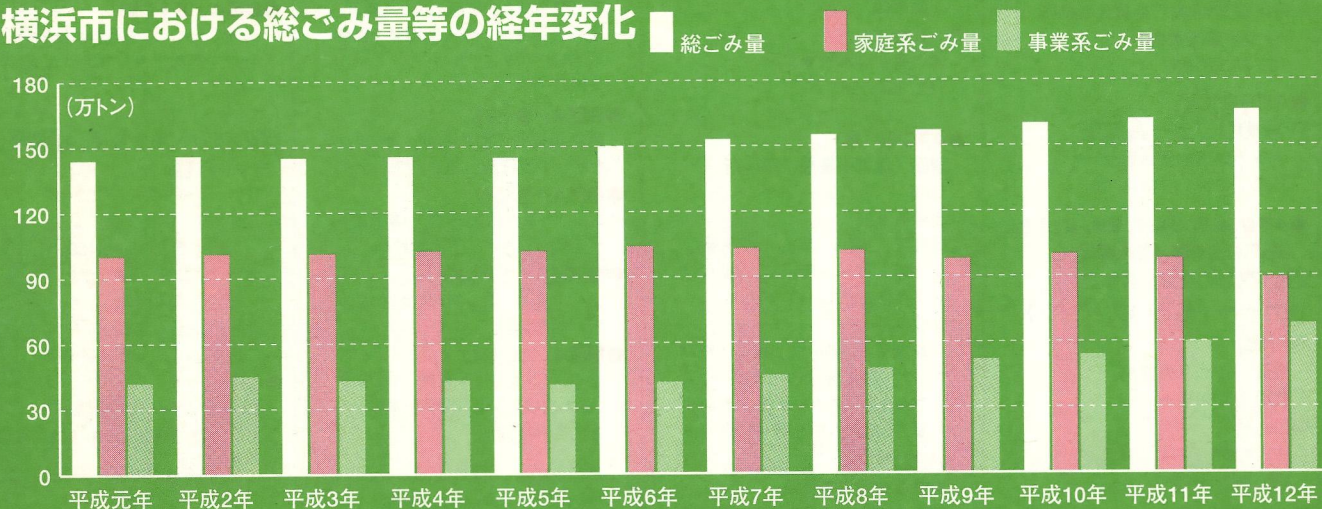
しかし、横浜市のごみの量は年々増え続けてきています。(グラフ参照) 横浜市のごみ量は、年間約144万トン(平成元年)から約166万トン(平成12年)に、11年間で年間

約22万トン(15.3%)増えています。

内容をみますと、家庭から出るごみ量は99.5万トン(平成元年)から89.2万トン(平成12年)とわずかに減っています。しかし、事業系ごみ量は、44万トン(平成元年)から68万トン(平成12年)へと大きく増加しています。(54.5%増)市の人口も他都市を上回って増加していますが、それ以上にごみの量が増大しています。



横浜市における総ごみ量等の経年変化



資源(紙類・金属)は、リサイクルして有効利用

何故こんなにごみは増えてしまうのでしょうか。最近ごみとして出される中に、紙類とプラスチック、金属などがいっしょに出されることが目立って多くなりました。焼却ごみの中の4分の1は紙類や金属などリサイクル・資源化できるものが含まれています。これらの資源化できるものは、分けることによってごみではなくなります。

横浜市では、出されたごみを公害防止設備の整ったごみ焼却工場で適正に処理し、ごみ焼却灰は「熔融スラグ」として道路路整材への有効利用を図った上で、なお残った灰を最終処分場に埋立処分しています。これには多大な費用を必要とし、さらに処分場として埋め立てに使える場所にも限りがあります。

ごみを減らすには、ごみを出さない生活をこころがける事と、資源として使えるものをごみに出さないことです。ごみと資源を分別し、資源をリサイクルして有効利用することを、市民一人ひとりが実践していく必要があります。ごみを袋に入れる時に、もう一度注意して分別してみましょう。

よこはま白書

今月の Mr & Ms リサイクル

定期的にセンターリサイクルを利用している方です。
古着などを持ってきました。
「着なくなった物は人にあげたりしていますが、どうしても使い道が決まらないときは、ここに持ってきます」
(旭センターリサイクルから)



リサイクル掲示板

イベント

●4月7日(日)

南区桜まつりイベント

- ・古着バザーとリサイクルマーケット
- ・リサイクル手作り教室
- 場所：南センター駐車場
～大岡川プロムナード

時間：午前10:00～午後3:00

※小雨決行、雨天中止

・フリーマーケット

- 場所：大岡川プロムナード
井戸ヶ谷橋～清水橋左岸
- 時間：午前10:00～午後3:00
- ※小雨決行、雨天中止

問い合わせ

南区桜まつり実行委員会事務局
(生涯学習支援係内)
TEL 743-8198

●4月9日(火)

衣類のリフォーム教室

- 場所：米区本郷地区センター
- 時間：午後1:00～4:00

●4月9、23、5月7、28、6、11、 25日の全6回(各火曜日)

古い衣類からベストと スカート(あるいはパンツ) を作成

- 定員：20人(先着順)
- 費用：500円

申し込み

費用を添えて本郷地区センターへ
TEL 892-5310

●4月14日(日)

フリーマーケット

(鶴見リサイクル運動の会)

- 場所：JR鶴見駅西口ショッピング
モール
- 時間：午前10:00～
- ※雨天中止

問い合わせ

鶴見リサイクル運動の会事務局
TEL 571-3795

●4月27日(土)

自然観察会

～春の自然観察ウォーク～

- 場所：舞岡ふるさと村虹の家
- 時間：午前9:30～午後12:30

※雨天中止

- 定員：20人(先着順)
- 参加費：200円(小学生以上)

問い合わせ、申し込み

舞岡ふるさと村虹の家
TEL 826-0700
E-mail: nijinoie@c3-net.ne.jp

センターリサイクル

●4月6日(土)

- ・瀬谷区 ツツ橋公園
- 時間：午前9:00～午後12:00
- ※雨天中止、車で搬入可
- 回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、
繊維類

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所
TEL 364-0561

●4月7日(日)

- ・泉区 環境事業局泉事務所
- 時間：午前9:00～午後12:00
- ※雨天実施
- 毎月第1日曜日に実施(1月を除く)。
車で搬入可。一般家庭に限りです。
必ず品目ごとに分けて下さい
- 回収品目

新聞紙、段ボール、雑誌、紙バ
ック、繊維類、リターナブルびん、
アルミ缶、スチール缶、小物金
属 ※粗大ごみは取り扱いせん

問い合わせ

環境事業局泉事務所
TEL 803-5191 FAX 803-7951

●4月14日(日)

・神奈川区

反町公園神奈川区役所側

- 時間：午前10:00～午後1:00
- ※雨天実施
- 回収品目

新聞紙、段ボール、雑誌、紙バ
ック、繊維類、リターナブルびん、
食品用白色トレイ

問い合わせ

エコライフかながわ
TEL 413-3196

●4月21日(日)

- ・旭区 環境事業局旭工場内
- 時間：午前9:00～午後12:00

※雨天実施

- 回収品目
- 新聞紙、段ボール、雑誌、紙バ
ック、繊維類、リターナブルびん、
アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所
TEL 953-4811

ファイバーリサイクルネットワーク

TEL 045-710-6507

雨の日も回収を行うため、ビニール
に入れて。ふとん類・ぬいぐるみは
回収しません。

●米区4/4(木)

コープかながわ小菅ヶ谷店/上郷店・
庄戸自治会館・東上郷青葉ヶ丘自
治会館・ナチュラルコープ・ヨコハ
マ他

●西区4/9(火)

西平沼宮元町町内会館・コープか
ながわ中西行政区事務所他

●南区4/9(火)

コープかながわ大岡店/中里店・
生活館みなみ・永田小学校他

●金沢区4/11(木)

金沢かもめ・コープかながわ六浦
店/並木店他

●旭区4/16(火)

旭ホーム・ちとせ保育園・コープか
ながわ白根店・東京電力旭営業所・
丸山自治会館他

●中区4/16(火)

東京電力お客様相談室・マリンハ
イツ・安田火災海上保険・コープ
かながわ本牧店・緑ヶ丘町内会館・
本牧小学校他

●港北区4/16(火)

コープかながわ高田店/太尾店/
下田店/綱島店・堀崎公園前・
大倉山自治会集会所・東寺尾デ
ポー他

●青葉区4/24(水)

コミュニティクラブ生協つつじヶ丘
デポー/みたけ台デポー・すすき野
中央自治会集会所・長谷第一公園・
コープかながわたまぶらざ店他

●緑区4/24(水)

コミュニティクラブ生協霧が丘デポー・
中山生活館・十日市場地区センタ
ー他

春のペットボトル利用講座

“水やり週1会

ラク・ラクガーデンング”

日時：5月10日(金)
午後1:30～3:30

場所：エコライフかながわ
多目的団地

講師：三谷 基氏

定員：30名(無料 先着順)

申し込み

エコライフガーデンング係まで
TEL 413-3196 FAX 488-3463

フリーマーケット募集

三ツ池公園環境フェスティバル

日 時：5月19日(日) ※雨天の場合5月26日(日)
午前10:00～午後2:00

対 象：区内在住・在学・在勤の個人と団体対象

出席料：1500円

区 画：3m×1.5m 120区画抽選

※食料品の販売・営利目的での参加は不可

応募〆切り：4月15日(月)

応募方法

往復はがきに、住所・氏名・電話番号・団体名(代表者名)・販売品目
を記入して、鶴見区役所生涯学習支援係「鶴見区民フェスティバル実行
委員会フリーマーケット募集係」へ。1人(団体)1通のみ。

TEL 510-1692 FAX 510-1892

100%リサイクル可能。鉄は循環型社会の超優等生

協和金属産業株式会社取締役 杉山幸夫さん

今年、創業30周年を迎える同社（新横浜）は、鉄スクラップ専門のヤードディーラー。ヤードディーラーとは、工場を持った卸売業者のことで、平たく言うと鉄クズの問屋です。建物の解体現場や、鉄製品の製造過程で出た鉄クズが、解体・回収業者によって運ばれてきます。それを国際規格サイズに切断、またはプレス加工して、製鉄会社に製鋼原料として卸すのが、こちらのお仕事。

「鉄は、ほとんど百パーセントリサイクルされる超優等生なんです。今のうちに、世の中が循環型社会ブームになるずっと前からそうだったらいいですよ」ムム、らしい、とは？



の超優等生

1957年（昭和32年）10月9日生・血液型B型・横浜市戸塚区出身・妻と3歳半の双子（男）の4人家族。
アウトドア志向で、夫婦二人だけの頃はよく釣りやバーベキューに行っていたけれど、今は子どもたちを連れておにぎりやゴザ、三輪車持参で公園へ。緑区にある四季の森や港北・コータウンの大きな公園がお気に入り。娘が17歳になるまで一緒に公園にお風呂に入れたらいいな、と考える子煩悩パパ。

社長の生き方に共鳴し、異業種から鉄スクラップやさんに

「いやいや、僕は5年前に入社したのであまり昔のことは。それまでは全く違って、大学を出てから、和食系のフードサービスや教育サービスの仕事をしていました。この業界では珍しいと思いますよ、お寿司握れて、大学の進路相談にのれて、クレーンも動かせるというのは」

社長の娘さんと結婚したのが縁、とのことですが、転職を決意させたのは何だったのでしょうか。

「社長は後を継いでくれなんて一言も言いませんでした。でも、僕の方に死ぬまでに何かやってみたいとくすぶる気持ちがあったのと、社長の生き様にすごく共鳴する点があって、男同士として一緒に仕事をやっていきたいと思ったのがきっかけですね」

まさに運命的な出会いだったと？

「ええ。ガソンときたのは『杉山君、いい加減が一番だよ』という言葉。アクセ

ントは『いい』につける言い方の「良い加減」という意味。あるがままに、世の中の流れを掴みそれに沿っていくということ。それまで肩ひじ張ってやってきた僕は、肩の力がすーっとぬけた。ああ、そうか、と。リサイクルは世の中の流れだなあとも思いました。」この世界は、当初どんな印象だったのでしょうか。

「びっくりしたのは、スクラップって売れるんだということ。こんな不況の時代なのに、在庫が尽きる心配はあっても売れなくて困るということがない。だから、私たちにとっては、鉄クズを運んでくれる回収業者さんが大切なお客さんなんです。売り先の製鉄会社も勿論だけれど、同じように回収業者さんも大事。両者に向かって『毎度あり!』です。

回収業者さんにとっては、くつろげる場所に、業務はコンピュータで省力化

今後、杉山さんが目指す会社像は？

「コンピュータの一層の導入などによって加工と卸売販売の業務は限りなく省力化、効率化を計る一方、業者さんを迎える店（工場）はまるで居酒屋のようなくつろげる場所でありたいです。ハイテクとハイタッチの共存といいたいでしょうか。うちには営業職はいない。代わりに、社

長以下クレーンの作業員まで全員の笑顔と温かい対応が、一番の営業なんです」

業者がついつい長居をしてしまったり、近所の人々が「これもいいですか」と持ち込むスチール机や自転車を快く引き受ける親しみやすさは、もうすでに見えない玉のれんがかかった居酒屋さんとも言えそうです。

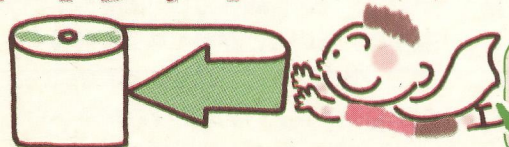
その1
びっくり
リサイクルボーイ・
トイレットペーパーは、
ごみが出ない芯なしロール。
しかも専用ホルダーでは
なくふつうのホルダーで
使えます。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。
だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

★使ってびっくり

リサイクルボーイ
トイレットペーパー

その3
びっくり
再生紙なのにソフト。
バージンパルプのティッシュより
お肌にやさしい! 愛用者の某リサイ
クルデザインの関係者いわく、「ティ
ッシュを使うと鼻の下がごわごわに
なるのに、このトイレットペーパーだと
大丈夫なの」(実話です)。



びっくりその2
手にするとずっしり重い。
それもそのはず、ふつうのトイレット
ペーパー（シングルで60m）の2倍
以上の長さ（130m）です。「使っ
ても使ってもなくなるらないんですね」
との声も寄せられるほど（もちろん
いつかはなくなるけど）。

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045-316-4050
FAX 045-316-6050

シングル芯なし130メートル1パック（6ロール）あたり価格420円

きれいな街でキックオフ

ポイ捨て防止・街の美化を呼びかけ、
エコ草履にハッピー姿でパレード

2月20日（水）よく晴れて春を思わせる暖かい日差しの中で、神奈川区グリーンキャンペーン『きれいな街でキックオフ』が行われました。

午後2時半からJR大田駅西口駅前広場で、地元創英高校生成成の看板除幕式が行われたのを皮切りに、大田通商店街と大田一番街を、商店街の人たちや環境に関わる人たちがポイ捨て防止や街の美化を呼びかけてパレード。商店街で買い物途中の人たちも興味深げに足を止めていました。またパレードには、創英高校ダンス部が揃いのハッピーを着て参加。素足に古布で作ったエコ草履を履いて、元気のいいダンスを披露し、キャンペーンを盛り上げていました。

沿道にはリサイクル・行政相談コーナーが設けられ、甘酒のサービスや苗木のプレゼントなどもあり、どのコーナーも盛況でした。

パレード終了後、パレード最終地点でもある京急子安駅地下道出口では看板除幕式と『ちいさな美術館』の開館式が行われました。それにさきだち、神奈川区役所新保総務部長と大田一番街鈴木商店街会長が「ごみ一つない街を目指していきましょう」と挨拶。商店街に携わる人たちの環境美化への思いを示していました。

「ちいさな美術館」に
環境絵日記やポスターが展示

また開館式が行われた「ちいさな美術館」は、京急線高架下の地下道を利用し

たもので、毎年秋に開催される「リサイクルデザインフォーラム」に寄せられた作品等の中から、神奈川区内の小学生の作品を展示。作品は資源の分別やポイ捨てなど思い思いのテーマを生き生きとした絵や文章で表現されています。この子どもたちが描いた50点の環境絵日記や環境に関するポスターを、道行く人たちも熱心に見入っていました。

「ちいさな美術館」は現在開催されています。ぜひ一度、足を運んで見てはいかがでしょうか？

Eco
エコスポット
Spot

リサイクルショップ
きまほ

質の良いものを大切に使う気持ちを伝える

大通りから道1本入った静かな住宅街にその店はあります。趣のある木の看板が掛かった『きまほ』は、この春18年目を迎えたリサイクルショップです。1990年には、それまで発行していたミニコミ紙『きまほ通信』の特別増刊号として、環境について書いた『きまほ通信・地球版』（筑波書房）を出版しています。

店内は天井から足下まで品物がぎっしり。2人のスタッフのうち1人、創設当初からのメンバーでもある宮守さんに話を聞きました。

「創設した頃はリサイクルショップの先駆けで、商品を持ち込む人も買う人も値段の高い安いに関わらず、物を大切にしたいという気持ちがありました。でも

今は新品で安い物が大量に出回るようになり、リサイクルショップの大型店もあります。特に必要でなくても『安いから』という理由で数多く買っていく人が増えましたね。

物に対する意識が変化しているようです。今やリサイクルショップは、安いだけでなく質の高いものが望まれるようになってきました。その中で上手に利用するコツは、マメに顔を出して商品チェックをする。店の人と仲良くなって情報交換する。時間をかけてじっくり選ぶこと。きまほには2～3時間『遊んでいく』人もいます。また、店の奥にあるコーナーで1杯100円のコーヒーを飲みながら

おしゃべりを楽しんでいく人も。気持ちいいものは置いていき、新しくして帰っていくのかもしれない。

今後はリサイクル品を売るだけでなく、気に入った物を手にいれることで味わえる豊かな時間や空間にしていきたいと考えているそうです。「物への思い入れを人から人へ橋渡ししているんです」と笑う宮守さんの厳しい目利きで埋め尽くされた店内は、すべて1点物の宝箱です。

住所 横浜市緑区霧が丘5-2-6
TEL・FAX 045-921-2977

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(略称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。

とにかくリサイクルに興味がある方、環境教育や街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方など、どなたでも構いません(詳しくは参加資格をご覧ください)。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくり

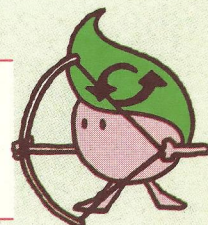
について、皆さんと一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

興味のある方は下記いずれかの方法で、お申し込み下さい。

受付随時

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!



●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ 1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合

電話 045-316-4050

FAX 045-316-6050

Eメールアドレス mail@recycledesign.or.jp

●参加資格・条件

- 1.横浜市内にお住まいの個人および団体(集団回収実施団体・市民団体など)の方
- 2.私たちの活動をご理解、ご支援していただける方
- 3.ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
- 4.脱退は原則自由です
- 5.入会金や年会費はありません

●参加決定ご本人の入会ご意思の確認と正組合員の推薦をもって理事会にて決定しご通知します。

60万トン

この数字なあんだ

平成13年4月1日から「家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)」が施行され、1年が経ちました。

この法律は、洗濯機、テレビ、エアコン、冷蔵庫の4品目(以下、廃家電といいます)を対象として、製造者(メーカー)にはリサイクルの義務が、小売業者には消費者から引き取った廃家電をメーカーに引き渡す義務が課せられ、その代わりに消費者は処理費用(=リサイクル料金)を負担することを基本としています。

一般家庭からの廃家電は年間1800万台、重さにして約60万トンにもなります。私達は戦後、大量生産・大量消費・大量廃棄という消費システムを作り便利な生活を営んできました。しかし、そのような消費システムを作ってしまったことで、最終処分場の不足や不法投棄、環境破壊といった深刻な問題も生じてきました。

今、求められているのは、効果的なリサイクルを実現することで、廃棄物を減量する循環型社会を形成していくことです。それには、まず私達一人一人が、消費システムが変わりつつあることを自覚し、日々の暮らしを見直すことから始めましょう。



1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 ●横浜市金沢区・緑区・西区・中区・都筑区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦4-10-17)



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

編集室から

いかがでしたか？

今月からリニューアルしました「月刊リサイクルデザイン」今までご愛読いただいていた方は、あまりの変化にビックリされたと思います。

本誌も、おかげさまで創刊より7年半、発行部数も17000部/月に手が届きそうな勢いです。今年、創刊100号を迎えるにあたり、もう一度初心に返り、「リサイクルって何だろう？」という視点で誌面作りを進めていきたいと思っています。

「環境の世紀」とか「循環型社会元年」などと言われ始めた21世紀。新聞紙面に「リサイクル」の文字を見かけない日は無くなりました。

そこで「リサイクル」が流行もので終わってしまわないためにも、このへんでもう一度「リサイクルって何だろう？」を、

読者の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。編集室では皆様のご意見で感想をお待ちしております。FAXまたはEメールにていただければ幸いです。

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

横浜市資源リサイクル事業協同組合（略称：リサイクルデザイン）

横浜市のゴミ減量化・再資源化の受け皿団体を目指して1992年に設立。

- 現在市内業者139社が集まり、資源集団回収の推進・ビン・缶・古雑誌・古紙等のリサイクル、オフィス古紙回収、神奈川県行政施設古紙回収、粗大ごみの再資源化、スーパー店頭アルミ缶回収。
- 横浜市資源選別センターでの缶、ビン、ペットボトルの再資源化作業等の廃棄資源化事業。
- 100%再生コピー用紙や再生紙トイレット

ペーパー「リサイクルボーイ」の販売。

- リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」の発行・ホームページの開設、市民フォーラム、リサイクル学習会への講師派遣、リサイクル見学会の幹旋。など様々な活動をおこなっています。

リサイクル事業を通して「循環型都市よこはま」「リサイクル文化都市よこはま」づくりに積極的に参加することを目指しています。

●リサイクル標準価格表 2002年2月現在 日経2/28

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	-1~0円	1.5~2.5円
雑誌	-4円	-1~0.1円
段ボール	-4円	0~0.5円
衣類くず	設定不能	0~1円
アルミ缶	10~15円	

*集団回収には「買入価格」を適用 **

有料の場合あり*スチール缶と選別済の価格

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

- マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミン5F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）●大船店●地酒 篠原屋（港北区篠原屋）●エコロジーショップエッセンス（中区麦田町）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●安田火災海上保険横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店●食品館・白根店生活館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・ドリームランド店・磯子店・オルト新子安●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店

月刊 リサイクルデザイン

発行日：2002年3月25日

発行人：中野聰恭

編集人：宗村隆寛

編集室：戸川孝則・竹澤留美

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男
杉山宜利・芦澤博志

制作：(企)エコ・アド
印刷：オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK（大豆インク）を使用しています。

